

山口大学講演会

学術や研究とは

何だろうか？ 私の経験から

私は今まで40年以上、ニュートリノや重力波などの基礎科学の研究に携わってきました。
またこの間に学術会議の会長も経験し、その時にもいろいろと考えさせられることがありました。
これらの経験を紹介し、それをもとに皆さんと
学術や研究とは何だろうかと思えます。



梶田先生と
一緒に
集合写真を
撮ろう!!

梶田隆章氏

(東京大学卓越教授・特別荣誉教授)

PROFILE

東京大学卓越教授・特別荣誉教授
2015年ノーベル物理学賞受賞、前日本学術会議会長

1998年、観測装置スーパーカミオカンデを使って、ニュートリノ振動という現象を発見し、物理学に新しい世界を開く。2015年、「ニュートリノが質量をもつことを示すニュートリノ振動の発見」でノーベル物理学賞を受賞した。

2008年から14年間にわたり東京大学宇宙線研究所の所長を務め、現在も同研究所の教授として、大型低温重力波望遠鏡「KAGRA」の研究代表を務める。

日本の科学者の代表機関であり、日本の学術を発展させ、またその成果を社会に還元する役割を担う日本学術会議の第25期会長を務めた。日本の学術の代表として、学術や研究とは何かということについて最も深く考え、広く発信している。



2025.10/21 Tue

17:30～19:00 (開場17:00)

対象 | 研究者、山口大学教職員・学生、市民一般

参加 | 予約不要・参加費無料

共催 | 国立大学法人山口大学、HIRAKU-Global

協力 | 山口大学時間学研究所

後援 | 山口県教育委員会、日本時間学会

会場 | 山口大学大学会館大ホールおよびzoom

詳細については時間学研究所ホームページをご覧ください

お問い合わせ | 山口大学時間学研究所 tel 083-933-5848

E-mail jikann@yamaguchi-u.ac.jp

